

発言通告書の要旨(一般質問)

令和6年第4回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/5 (木)	1	5 横山 強	1、令和6年第3回定例会一般質問に対する市長答弁(部長含む)について	(1)9月の一般質問に対して、契約約款及び契約の不備等による各課が市民の税金の無駄遣いについて各課の答弁について、市長答弁(各部長含む)の答弁が疑問点と問題点と虚偽答弁となる発言等について再度伺う。(総務・建設・教育委員会) (2)9月の一般質問の質問で、契約等に2年の瑕疵責任の中で、今、市民病院を業者側から粗悪な補修や修繕している問題点と三豊市側が工事の管理等に対する希薄な対応と瑕疵工事に対し、三豊市側の責任等を再度伺う。
	2	6 市川洋介	1、バカロレア教育の今後について	国際バカロレアは世界中どこでも同水準の教育を受け必要条件を満たせば世界各国の大学の入学資格を得られる学習プログラムであり、世界的に注目されているが、認定校となるのはいつか。 今後の方針をお聞きしたい。
			2、三豊市における果樹振興対策と畜産業について	(1)三豊市はフルーツ王国として内外に認知されているが、果樹園の荒廃と生産者の高齢化についての今後の対策 (2)三豊市の農業における収益の中、養鶏業の収益は大きな数字を占めているが、鳥インフルエンザ、飼糧の高騰、ランニングコスト(電気料金)により大変厳しい経営をされている中での三豊市独自の支援策は。
			3、三豊市の人口減少と生産労働力減少とその対策	(1)三豊市においての人口減少の現状と外国人労働者 (2)市外からの居住者に対し20年以上住むと住居がもらえる施策について (3)他の自治体において、15～20年間移住して住むことにより、住宅を無償で取得できる施策について
	3	10 高木 修	1、大規模災害時の、被害者受入ホストファミリー制度導入について	大地震等の大規模災害時、路頭に迷う被災者を一時的に受け入れるホストファミリー制度を創設している自治体がある。 困った時には相互扶助、個人宅の空き部屋等も提供していただける可能性が高い。三豊市でもこうした制度の導入を検討してみてはどうか。
			2、夜間中学の現状と課題について	香川県初の夜間中学が三豊市に誕生したが、その後の現状と課題について問う。
			3、不登校児童、生徒の実態と対策について	小学校、中学校で不登校児童、生徒が増加傾向にあると聞く。実態を問うとともに、対策についての考えを問う。
			4、部活動の地域移行の状況について	一般社団法人三豊市文化・スポーツ振興事業団が設立されたが、部活動の地域移行の現状と課題について問う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和6年第4回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/5 (木)	4	3 三谷正史	1、外国人労働者受け入れに対する三豊市の考え方、支援の在り方について	外国人労働者に対する、市としての日本語教育を含めた支援の在り方について
			2、三豊市の海外友好都市との交流について	海外友好都市との交流の現状。来年、友好都市提携20周年を迎える中国三原県との今後の交流予定は。
			3、事務事業の棚卸しについて	事務事業の棚卸しにおける基本方針と進捗状況について
	5	19 浜口恭行	1、水産業振興について	本市の水産業では、漁獲量の低下と魚価の低迷、後継者不足さらには燃料費などの高騰により経営環境が厳しくなっているが、どのような振興策を講じて、支援を行っていくのか。 その上で陸上養殖の可能性についても検討しているのか、を聞く。 また環境についても海水温の上昇、「海が変わった」という点での海底の砂地やアマモの減少について、特に「藻場」の再生事業については、試行的な段階の中で、本市の取組支援の現状を聞きたい。
			2、子育て支援について	2023年4月に、こども家庭庁が発足し、同年12月には、若い世代の将来展望を描けない状況や子育てをされている方の生活や子育ての悩みを受け止めて、「こども未来戦略」が策定されている。こども家庭庁HP上には「こども未来戦略MAP」も公開されているが、主な施策である (1)子育て世帯の家計を応援(住宅支援) (2)すべてのこどもと子育てを応援(伴走型相談支援、こども誰でも通園制度) (3)共働き・共育を応援(男性育休取得推進) などの取り組みについて、MAP上の財政支援措置の本市の取組状況、今後の方針を聞く。 その上で、自治体のこども政策の縦割りを一元化したり、こども子育て支援センター(仮称)の整備方針、就学前施設の在り方や今後の整備方針、保育士の処遇改善なども聞きたい。
12/6 (金)	6	4 近藤 武	1、三豊市役所の採用試験について	どのような人物を採用したいと考えているのか、試験内容や昨年度の倍率はどのようになっているのか、またUターンの受験者は採用試験で考慮している点等はあるのかを聞く。
			2、三豊市給付型奨学金支給について	経済的な理由から修学が困難であると認められる者や、学業、スポーツ、芸術等、あらゆる分野において修学意欲がある者などが給付型奨学金を受けることができるとなっている。給付基準もあり公平性は担保されていると思うが、やはり受けられない家庭は不満があるのは事実である。経済的な理由は収入がある程度あっても苦しいのはどこの家庭も同じである。その子の将来の投資とするならば学業やスポーツでも全国クラスの生徒も考慮すべきと考えるが市の考えを聞く。
			3、三豊市立小中学校再編計画について	今年度4月に三豊市立学校再編整備基本方針(改訂版)が出された。1期中に松崎小学校と曾保小学校が各小学校に統合を目指すこととされ、将来構想の2期中に高瀬町、三野町の各小学校統合と市内7つの中学校を3校に統合を目指すこととされている。このスケジュール感は時間的にも合併特例債もないため財政的にも相当厳しいと考える。クラブ活動地域移行にするにも課題も多く、問題を先送りせずできることから話を進めていくといった考えはないのかを聞く。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和6年第4回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/6 (金)	7	9 込山文吉	1、令和7年度当初予算の編成方針について	(1)子育て支援センター建設の方針をお聞きする。高瀬町公民館跡地利用方針もお聞きする。 (2)北部給食センター建設推進状況をお聞きする。詫間地区避難所機能を備えた武道館建設方針についての現状をお聞きする。
			2、集落支援員制度活用について	「制度設計や準備期間を経て令和8年度からの本格導入を目指す。」方針であるが、瀬戸内国際芸術祭に関連した栗島の活性化策を優先して検討する方針が示された。離島地域における先行導入について伺います。
			3、三豊市スポーツ施設について	(1)スポーツ施設予約方法について、空き確認・窓口予約など、利用者から課題や不満点が寄せられている。予約システム導入に向けた具体的なスケジュールをお聞きする。 (2)市内屋外施設照明のLED化推進を検討する答弁を頂いた。 市全体の脱炭素目標やSDGs達成に向けた取り組みとして、どのように位置付けておられるのかお聞きする。また、具体的な計画やスケジュールを教えてください。
			4、視覚障害者 日常生活用具補助について	視覚障害者の歩行をサポートする、視覚障害者用ナビゲーションデバイス「あしらせ」が開発された。視覚障害者が安心して日常生活を送れるよう、自立支援のための福祉機器補助対象の中に「あしらせ」を含めて提供できないかお聞きする。 補助対象とする場合の基準や要件を具体的に教えてください。
	8	18 西山彰人	1、三豊市の温暖化防止について	三豊市民への周知について、事業説明はあるが、生活に対する影響・危機感についてどのように考えるか伺う。
			2、ハラスメントについて	ハラスメントは「した側」の問題ではなく「された側」の問題であり、弱者をいかに救うかの問題と思うが市長の考えを伺う。また、その対策について伺う。
	9	20 詫間政司	1、豊中町本山地区の治水対策について	豊中町本山甲百合田地区においては、商業施設の立地や住宅開発等の環境変化に起因した用水路に流入する生活排水や雨水が増量し、しばしば浸水被害を発生させている。気候変動も相まって、被害も大きく頻度は高まっている。今後、さらに大きな災害発生も憂慮されるため、この状況の改善が急務である。その対策の考えを問う。
			2、オーガニックビレッジ宣言と出口戦略について	本年第1回定例会における代表質問で問うたオーガニックビレッジ宣言について、上半期が経過した。有機農業実施計画において有機農業の現状を指摘しているように、「流通は系統外流通、場合によっては市場外流通となり、販路も生産者自らが開拓せざるを得ない状況である」という現状がある。三豊市の独自性を活かしたオーガニックビレッジ実現に向けた取り組みの現状と、出口戦略の現状と見通しを問う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和6年第4回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/6 (金)	10	1 湯口 新	1、防災について	(1)避難所の設営体験・宿泊体験・車中泊体験を推進してはどうか。 (2)子育て世帯の優先避難についての考えを伺う。 (3)学校の体育祭や文化祭などの行事に「防災」を取り入れてもらう取り組みを広げてはどうか。
			2、廃校の活用について	廃校を子育て支援拠点や図書館、災害時の避難所などとして活用してはどうか。
			3、聴覚障がい(難聴)について	聴覚障がいを持つ市民の方から「市主催の講演会などで聴覚障がい者に対応していないものがあり参加しても内容が理解できない場合がある」と相談を受けた。また聴覚障がいの一つである加齢性聴覚は適切な時期に適切な補聴器の使用が大切であるということも学んだ。聴覚障がいを持つ市民への対応について伺う。
12/9 (月)	11	15 瀧本哲史	1、財政について	先日、財政経営課から総務常任委員会へ、財政見通しという資料が提出された。この資料は、現時点での財政状況から見通せるこれからの三豊市財政の危機を表した資料と解釈できる内容である。 この資料を中心にお聞きする。 また、関連して全事業の棚卸しを行うとあるが、棚卸しから現実には事業の縮小削減を行うスケジュールについてや、目標削減額についてお聞きする。
			2、主権者教育について	昨今、国政選挙や地方自治体選挙で変化が見られる。これまでの政治体制を否定するような選挙結果も一部で見受けられる。 その原動力になっている一端は、相対的に投票率が低いとされてきた若い世代の関心が高まってきていることもあげられる。 以前に比べて、よりSNSの活用が選挙への関心を誘発していることも各メディアで指摘されている。 ここで重要になってくるのが、主権者教育であると考える。 三豊市の主権者教育に対する取り組みや、考えについてお聞きする。
	12	2 田中達也	1、危険家屋が及ぼす生活環境への影響について	適切な管理が行われていない空き家は、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、対策を講じて市民の生命、身体または財産を保護する必要がある。そして、所有者が行方不明であったり、所有者が死亡したが相続人が不存在であったりする場合には、空き家の適切な管理を行う責務のある所有者等に対応を期待することができない。 このような場合に、市民の福祉の増進に努める責務を負う三豊市として、主体的に行うことのできる空き家対策について、市民から相談があった事例をもとに確認する。
			2、情報発信ツールの活用について	三豊市が運用するLINE公式アカウントが開設されてから3年、そこに受け取りたいジャンルを選んで受信できる「セグメント配信」が採用されてから2年が経過した。 導入による成果や他の情報発信手段との比較等について確認し、今後の展望を聞く。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和6年第4回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
12/9 (月)	13	8 水本真奈美	1、震災時の消防団の役割について	(1)震災時における消防団の招集体制と活動内容 (2)震災対応訓練の状況と今後の取り組み (3)消防団の震災対応のための装備品の充実とドローン隊結成の考え (4)消防団活動の市民へのアピール、団員増強の取り組みについて伺う。
			2、学習ICT整備事業のタブレット端末の更新について	(1)端末更新に向けて機種選定や費用、計画やスケジュールについて (2)更新対象端末の処分計画とデータ消去について
			3、空き家対策について	近年、全国的に老朽化した空き家が増加している中で、三豊市も令和3年空き家実態調査によると空き家の件数は2006件と増加しており、防災、防犯、衛生、景観等、周辺住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。危険空き家を解体すると固定資産税が上がり、解体後の土地利用や売却の見込みがない場合、改修や解体の費用がかかるため、実行に移せない現状がある。空き家対策として、住宅除却後の固定資産税の減免制度導入している自治体は現在少数である。三豊市が導入した場合、効果が期待できるか、考えを聞く。
	14	12 岩田秀樹	1、子どもの権利条約がどのように生かされているのか	2016年に「子どもの権利条約」を基本理念として明記した改正児童福祉法が成立した。子どもの権利を基盤とした基本法の成立は、2022年の「こども基本法」の成立が大きな成果だった。学校現場において子どもの権利条約に基づく教育や学校運営がなされることを目指したものであった。 学校統廃合などにおいても子どもの権利条約に基づいた取り組みが行われる。これがこれまでの見解であるが、どのように位置付け取り組んでいるのか。
			2、有機フッ素化合物PFASが香川県水道企業団の調査で国の暫定目標値を上回る濃度で検出されたが対応は	県・市・水道企業団に対して①県の責任で対策本部を設置し、相談窓口の設置を。②基準上の数値が検出された経過と、原因を明らかにする。③財田川上流の水質検査、地域の調査、などを実施する。3項目(要旨)の申し入れを行った。三豊市などの回答はどのようなものか。
			3、有機農業を広げ耕作放棄地の解消を	三豊市は農業が基幹産業と位置付けられている。しかし農地面積約1／4が耕作放棄地となっている。三豊市は、今年「オーガニックビレッジ宣言」を行った。しかし、日本は農薬使用量世界第2位である。この宣言により、今後学校給食に地元産有機米や有機野菜を導入することから始め、地場産麦作りの検討も行い、耕作放棄地解消にもつなげていきたいと考えるがどうか。
			4、ふれあいパークみのの売却について住民説明は	「ふれあいパークみのの」の温浴・宿泊・食事の施設について、現在の指定管理者である業者に売却の考えと聞くが、その経過内容について地元三野町住民には説明すべきではないか。 合併前、三野町の中心事業で、地域の柱であった。行政で最も求められるのは、住民合意である。今からでもいい、説明の機会を持つべきではないか。
			5、「四国新幹線よりローカル線を守れ」の署名を行うべきでは	新大阪へ高松から29分短縮させるため、新幹線で四国が生き残るためとして「四国に新幹線を」と新幹線整備促進期成会をはじめ署名活動を行っている。四国新幹線の計画では駅は4つしかない。すでに導入された北海道新幹線、九州新幹線では、並行在来線の便数減・廃線など、より不便になっている。市長はどのような立場でどう考えているのか。